



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社一家ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7127 URL <https://ikka-holdings.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 武長太郎
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 高橋広宜 (TEL) 047-711-0850
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	5,215	14.7	△46	—	△69	—	△52	—
2025年3月期中間期	4,546	8.0	△217	—	△229	—	△158	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 16百万円（—％） 2025年3月期中間期 △145百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△7.35	—
2025年3月期中間期	△22.21	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	6,008	925	14.9
2025年3月期	5,709	897	15.1

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 893百万円 2025年3月期 864百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	11,629	15.3	320	—	286	—	179	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	7,252,600株	2025年3月期	7,134,800株
2026年3月期中間期	一株	2025年3月期	一株
2026年3月期中間期	7,183,728株	2025年3月期中間期	7,121,231株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通しに関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 業績の状況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善が見られるなど緩やかな回復基調を維持している一方、依然として原材料費・エネルギーコストの高騰、円安進行などの影響が長期化しているほか、米国による世界各国への大規模な関税政策の発動による世界経済への影響など、未だ景気の先行きは極めて不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、アフターコロナでの人流の増加に加え、インバウンド需要も回復基調である一方、原材料費・光熱費等の高騰や人材不足及び採用コストの増加など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、『あらゆる人の幸せに関わる日本一のおもてなし集団』というグループミッションのもと、より多くのお客様におもてなしによって感動を提供するために、優秀な人材の確保及びサービス力向上、各ブランドのブランド力向上に注力してまいりました。

飲食事業においては、新規出店、既存店のサービス力向上及び店舗オペレーションの改善、各業態における外部販促強化による新規客数の増加、自社アプリなどの会員獲得によるリピーター客数の増加に継続して注力してまいりました。

新規出店に関しては、ドミナントエリアへ2店舗（大衆ジンギスカン酒場ラムちゃん 成田店・こだわりもん一家 成田店）を新規出店したほか、「韓国屋台ハンサム 汐留店」を「寿司トおでんにのや 新橋汐留店」に、「韓国屋台ハンサム 渋谷店」を「屋台屋博多劇場 渋谷宮益坂店」に業態変更いたしました。また、今期よりバーベキュー・ビアガーデン業態の店舗については子会社である株式会社一家レジャーサービスでの運営に切替え、レジャー事業セグメントとして計上しております。これらの結果、飲食事業の直営店店舗数は89店舗となりました。

既存店（屋台屋博多劇場業態・こだわりもん一家業態・大衆ジンギスカン酒場ラムちゃん業態・にのや業態・韓国屋台ハンサム業態）客数は前年同期比4.2%減で推移した一方、既存店客単価は前年同期比7.3%増で推移し、既存店売上高は前年同期比2.8%増となりました。

ブライダル事業においては、近年、少子化やいわゆる「ナシ婚」の増加による婚礼件数の減少に加え、結婚式のニーズの多様化により少人数婚のニーズが高まり、婚礼1組当たりの組人数も減少傾向にある中、婚礼の主力広告媒体との連携強化、SNSを活用したブランディング強化による来館数・成約率の向上、サービス力向上及びコスト削減、宴席の新規案件の取り込み及びリピーター客数の増加、レストランのサービス力、商品力の向上及び新規客数の増加にも継続して注力してまいりました。

婚礼の施行数については、前期の受注が好調に推移したことが奏功し、前年同期比で増加いたしました。一方で、組人数・組単価については、小人数での挙式件数の割合が高まったことにより、前年同期比で減少いたしました。そのほか、宴席及びレストランについては好調に推移いたしました。

レジャー事業においては、バーベキュー・ビアガーデン業態の3店舗運営のほか、2025年11月29日にオープン予定の「THE BOTANICAL RESORT『林音』（ザ ボタニカルリゾート リンネ）」の開業準備に注力してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は5,215,905千円（前年同期比14.7%増）、営業損失は46,124千円（前年同期は営業損失217,804千円）、経常損失は69,444千円（前年同期は経常損失229,559千円）、親会社株主に帰属する中間純損失は52,809千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失158,195千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 飲食事業

売上高は4,186,693千円（前年同期比8.7%増）、セグメント利益（営業利益）は61,938千円（前年同期のセグメント損失（営業損失）は53,225千円）となりました。

② ブライダル事業

売上高は814,543千円（前年同期比17.2%増）、セグメント損失（営業損失）は157,431千円（前年同期のセグメント損失（営業損失）は173,885千円）となりました。

③ レジャー事業

売上高は213,468千円(前年同期は売上高一千円)、セグメント利益(営業利益)は31,966千円(前年同期のセグメント損失(営業損失)は3,765千円)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(総資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が103,743千円減少したものの、新規出店等に伴い有形固定資産が223,446千円、投資その他の資産のその他が120,222千円増加したことなどにより、6,008,134千円(前連結会計年度末比298,222千円の増加)となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は、未払金が43,105千円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が70,696千円、長期借入金が180,688千円増加したことなどにより、5,082,428千円(前連結会計年度末比269,587千円の増加)となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、親会社株主に帰属する中間純損失の計上に伴い利益剰余金が52,809千円減少したものの、その他有価証券評価差額金が68,574千円増加したことなどにより、925,705千円(前連結会計年度末比28,635千円の増加)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は1,231,808千円(前年同期は1,503,053千円)となりました。当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは24,883千円の収入(前年同期は190,799千円の支出)となりました。これは、減価償却費143,626千円の計上などによる資金の増加が、税金等調整前中間純損失69,444千円の計上、売上債権の増加32,755千円及び未払金の減少52,262千円などによる資金の減少を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは368,577千円の支出(前年同期は283,865千円の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出301,029千円及び投資有価証券の取得による支出30,396千円などによる資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは236,335千円の収入(前年同期は506,652千円の収入)となりました。これは、長期借入れによる収入730,000千円などによる資金の増加が、長期借入金の返済による支出478,616千円などによる資金の減少を上回ったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間における業績が概ね当初計画通りに進捗していることから、2026年3月期の業績予想については、2025年5月14日公表の「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の予想を変更しておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,454,656	1,350,912
売掛金	366,906	399,661
その他	250,457	253,747
貸倒引当金	△287	△80
流動資産合計	2,071,732	2,004,241
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,659,631	2,830,828
減価償却累計額	△1,014,041	△1,067,388
建物及び構築物(純額)	1,645,590	1,763,440
その他	1,034,613	1,182,293
減価償却累計額	△726,541	△768,624
その他(純額)	308,072	413,668
有形固定資産合計	1,953,663	2,177,109
無形固定資産		
のれん	2,801	2,101
その他	16,984	17,858
無形固定資産合計	19,786	19,960
投資その他の資産		
敷金及び保証金	862,040	883,867
繰延税金資産	384,383	384,426
その他	418,305	538,528
投資その他の資産合計	1,664,730	1,806,823
固定資産合計	3,638,179	4,003,893
資産合計	5,709,912	6,008,134

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	275,839	275,969
1年内返済予定の長期借入金	820,290	890,986
未払金	511,799	468,694
未払法人税等	11,515	8,009
資産除去債務	4,096	2,649
その他	245,896	278,397
流動負債合計	1,869,437	1,924,706
固定負債		
長期借入金	2,467,666	2,648,354
資産除去債務	317,195	321,048
その他	158,542	188,319
固定負債合計	2,943,403	3,157,722
負債合計	4,812,841	5,082,428
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,494	48,792
資本剰余金	1,209,667	1,215,966
利益剰余金	△410,696	△463,506
株主資本合計	841,465	801,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,253	91,827
その他の包括利益累計額合計	23,253	91,827
新株予約権	22,555	22,555
非支配株主持分	9,796	10,070
純資産合計	897,070	925,705
負債純資産合計	5,709,912	6,008,134

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	4,546,940	5,215,905
売上原価	1,524,253	1,687,411
売上総利益	3,022,686	3,528,494
販売費及び一般管理費	3,240,490	3,574,618
営業損失(△)	△217,804	△46,124
営業外収益		
受取利息	282	1,383
助成金収入	1,066	1,975
その他	3,620	1,573
営業外収益合計	4,969	4,931
営業外費用		
支払利息	14,823	21,125
その他	1,901	7,126
営業外費用合計	16,724	28,252
経常損失(△)	△229,559	△69,444
税金等調整前中間純損失(△)	△229,559	△69,444
法人税、住民税及び事業税	5,883	8,172
法人税等調整額	△78,839	△25,080
法人税等合計	△72,956	△16,908
中間純損失(△)	△156,603	△52,536
非支配株主に帰属する中間純利益	1,591	273
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△158,195	△52,809

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純損失(△)	△156,603	△52,536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,512	68,574
その他の包括利益合計	11,512	68,574
中間包括利益	△145,091	16,038
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△146,682	15,764
非支配株主に係る中間包括利益	1,591	273

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△229,559	△69,444
減価償却費	120,007	143,626
長期前払費用償却額	18,609	19,291
のれん償却額	700	700
支払利息	14,823	21,125
助成金収入	△1,066	△1,975
売上債権の増減額(△は増加)	20,250	△32,755
仕入債務の増減額(△は減少)	△19,765	130
未払金の増減額(△は減少)	△12,173	△52,262
その他の資産の増減額(△は増加)	△20,458	△5,142
その他の負債の増減額(△は減少)	△70,288	29,075
その他	4,978	2,670
小計	△173,941	55,041
利息の支払額	△15,860	△21,634
法人税等の支払額	△2,452	△11,871
助成金の受取額	1,066	1,975
その他	388	1,372
営業活動によるキャッシュ・フロー	△190,799	24,883
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△208,650	△301,029
有形固定資産の売却による収入	23,178	-
投資有価証券の取得による支出	△30,396	△30,396
無形固定資産の取得による支出	△3,000	△2,783
差入保証金の差入による支出	△55,437	△22,310
差入保証金の回収による収入	5,101	483
その他	△14,660	△12,542
投資活動によるキャッシュ・フロー	△283,865	△368,577
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,100,000	730,000
長期借入金の返済による支出	△580,160	△478,616
株式の発行による収入	-	4,435
リース債務の返済による支出	△13,187	△19,483
財務活動によるキャッシュ・フロー	506,652	236,335
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	31,987	△107,358
現金及び現金同等物の期首残高	1,471,066	1,339,166
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,503,053	1,231,808

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。